

事業概要シート

施策	0102	親と子の健康増進	<<>>の金額 現年度当初・補正予算、前年度繰越額の合計 ※補正予算要求時は今回の補正予算額を除く ※次年度予算要求時は次年度繰越額を除く
事業名	次世代むし歯予防対策事業	縮小	予算額 650 千円 << 3,249 >>千円
事業期間	平成19年度 ~		財源内訳 国庫支出金 千円 県支出金 千円 地方債 千円 その他 千円 一般財源 650 千円
根拠法令要綱等	第2次おおむら歯なまるスマイル21計画 長崎県フッ化物洗口推進事業補助金交付要綱 大村市フッ化物洗口事業実施要綱		

【事業の目的・概要・対象】

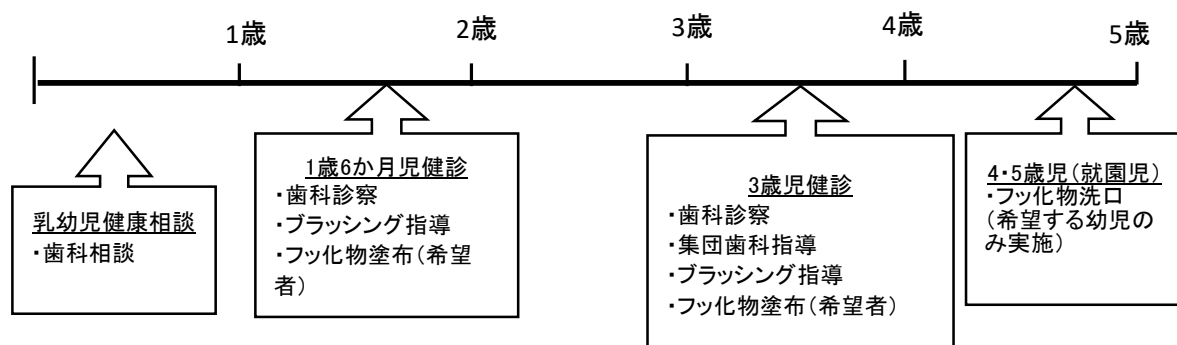
定期的なフッ化物歯面塗布及びフッ化物洗口によるむし歯予防を促進するとともに、生涯を通じた歯の健康づくりに対する市民意識の高揚を図る。

(1) 1歳6か月児健康診査及び3歳児健康診査において口腔内の状況を把握する。また、希望者にフッ化物歯面塗布を行うとともに、定期的な歯科健診の重要性や生涯を通じた歯の健康づくりに対する市民の意識づけを行う。

(2) 幼稚園、保育園等において、希望する幼児（4．5歳児）に、週5回（週6回）口腔内のフッ化物洗口を実施する。

※令和6年度から(1)について、「乳幼児・妊産婦一般健康診査事業」に統合する。

<ライフステージに応じた歯の健康づくり



※1歳6ヶ月児健診及び3歳児健診については令和6年度より、乳幼児・妊婦健康診査事業より支出

【背景】

近年、むし歯の保有状況や口腔衛生面において、むし歯のない者・本数が少ない者が多い者との二極化が課題となっている。1歳6か月児健康診査や3歳児健康診査において、歯科健診やブラッシング指導などを実施しており、また、フッ化物歯面塗布やフッ化物洗口などフッ化物を応用したむし歯予防対策を推進している。

担当課	こども未来部こども家庭課	課長	久保 昭隆
担当者	内田 佳代	問合せ先	0957-54-9100

事業概要シート

【活動指標】

指標名		単位	R 4 (実績)	R 5 (計画)	R 6 (計画)	R 7 (計画)	R 8 (計画)
①	フッ化物塗布実施者数（1.6歳児健診）	計画値 人	603	1,260	1,260	1,260	1,260
②	フッ化物洗口実施施設	計画値 箇所	41	41	44	44	44

【成果指標】

指標名		単位	R 4 (実績)	R 5 (計画)	R 6 (計画)	R 7 (計画)	R 8 (計画)
①	むし歯がない児の割合（3歳児健診）	計画値 %	86.1	90	90	90	90
②	フッ化物洗口実施率	計画値 %	93.2	100	100	100	100

【予算・決算】（千円）

事業費は当初・繰越・補正予算の合計額

年度	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	合計
事業費	3,114	3,582	3,249	650	836	836	12,267
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	3,114	3,582	3,249	650	836	836	12,267
人件費	1,309	1,309	1,091	1,091	1,091	1,091	6,981
職員(人)	0.18人	0.18人	0.15人	0.15人	0.15人	0.15人	0.96人
時間外勤務(h)	0h	0h	0h	0h	0h	0h	0h
会計年度任用職員(人)	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
フルコスト	4,423	4,891	4,340	1,741	1,927	1,927	19,248

妥当性 (市の関与)	1歳6か月児及び3歳児健診におけるフッ化物塗布や保育園等におけるフッ化物洗口等、集団に対してむし歯予防を実施するには、市が主体的に取り組む必要がある。
有効性 (施策貢献度)	1歳6か月児及び3歳児健診時にフッ化物塗布を行い、また保育園・幼稚園等でフッ化物洗口を行うなど、フッ化物を応用したむし歯予防対策により、3歳児健診をはじめ、その他のむし歯保有率が減少している。
効率性 (コスト)	1歳6か月児及び3歳児健診時にフッ化物塗布を併せて実施することにより、効果的な事業実施に努めている。また、フッ化物洗口は、フッ化物洗口用薬剤及び消耗品のみの低コストでむし歯予防に効果的である。

1次評価	担当者の記載のとおり
2次評価	1次評価のとおり